



Meiko Sakagami

阪上 めいこ

帝塚山学院短期大学文学部文芸専攻卒業。

関西芸術座研究所本科、演劇集団「円」研究所第1期生、ミヤコ蝶々新芸スクール一期生を経て、

1977年～1987年、帝塚山学院短期大学文芸研究室に助手として勤務しながら次々と3つの劇団を主宰。

えいばん・持木克規と共に、SHOW-COMPANYの前身であるミュージカル劇団ファンタスティック・クラブを旗揚げ、オーディションシステムのミュージカル劇団として毎年1～3本のオリジナルミュージカルを創作・

公演。1989年、SHOW-COMPANYを設立、代表となり現在に至る。

俳優の育成に力を注ぐとともに、学校・企業の人材育成、コミュニケーション研修講師も務める。

「思いやりの心を持つ輝く笑顔の人を育てる」ことが理想。

- 1986-2008年 大阪ガス“小さな灯”運動との共催で、児童養護施設の子どもたちを招待しオリジナルミュージカル公演を行う。
- 1986年 劇団ファンタスティッククラブ旗揚げ。劇団つかこうへい事務所、劇団東京ヴォードヴィルショーなどのプロデューサーで、21世紀ディレクターズユニオン林信夫氏と出会う。
- 1989年 SHOW-COMPANYを設立。
- 1990年 「国際花と緑の博覧会」ユニオンスクエアガーデン(連合大阪出展・野外劇場)イベントプロデューサー。
- 1991-1999年 大阪府ユースサービス大阪「大阪やんちゃ大賞」審査員。
- 1993-2003年 ホテル阪急インターナショナル・メンバーズクラブ事務局のスーパーバイザー及び大手企業の営業コミュニケーション研修講師。
- 1995-1996年 林信夫氏のプロデュースで、阪神淡路大震災直後の兵庫県尼崎市文化振興財団主催・SHOW-COMPANY オリジナルミュージカル『ファイヤーマンの祈り』『Yes! マリア』をアルカイック・オクトで公演。大阪ガス『ともしび劇場』共催でシアター・ドラマシティでも公演。シアター・ドラマシティでは大阪市消防局長が、女性消防隊と共に舞台挨拶、薔薇の花束を頂く。
- 1997年 大阪市消防局の依頼により、大阪ドーム建設後初のイベントに、はしご車に乗って登場。『ファイヤーマンの祈り』署長役で出演。大阪市消防音楽隊の演奏で『Thank you Firefighters』を歌う。
- 1997年 『Yes! マリア』稽古中に、アルカイックホールで、大阪ドームでのコンサートのためのリハーサルをしていたダイアナ・ロス、プラシド・ドミンゴ、ホセ・カレーラスに至近距離で遭遇。リハーサルを見学させてもらう。後日、大阪ドームに当日席を買いに行くと、前から10番目の中央座席を譲ってくれる人が現れる。ダイアナ・ロスの衣装は、『Yes! マリア』で私が着るはずのマザー・アグネスの衣装とそっくりのデザインだった!!
- 1996-2002年 八尾市ビデオコンテスト審査員。
- 1997/1999年 ニューヨークに滞在。ホテル阪急インターナショナル常務取締役柳川善一氏のご紹介でNY在住の演劇評論家大平和登氏にブロードウェイのチケットを予約して頂きプレミアム席で観劇。ハーレムツアーではトミー・富田氏に出会い、Beverly Hanshaw Smith氏にボーカルレッスンを受ける。連日連夜、ミュージカル、ジャズ、ゴスペルに浸る。アポロシアターでBBキングの楽屋を訪問。
- 2002年9月 SHOW-COMPANYメンバーを引き連れ、NYの911一周年・追悼ライブコンサートに参加。NYの消防署を慰問。
- 2003年10月 文化庁芸術祭参加、大阪文化祭参加「愛が降る街」プロデュース・演出・主演。
- 2003-2012年 たかいし市民ミュージカル劇団 アブラの指導・プロデュース・演出。
- 2008-2016年 SHOW-COMPANY 東京公演のために大阪と東京に行き来する。
- 2008年8月 『天使の休日』『This is My Song』東京公演がミュージカル・音楽評論家瀬川昌久先生に認められ、日本のオリジナルミュージカル劇団ベスト8に選出される。
- 2015年 お茶の水デジコンサロン世話人代表の西尾安裕氏に招かれて元電通総研常任理事の岡田芳郎氏講演『時代をプロデュースした男、小谷正一物語』を2回にわたり聴講。
- 2017年 なにわ名物研究会で、テレビ界の大プロデューサー澤田隆治氏の講演を聞く。小谷正一氏との繋がりを知り、西尾安裕氏と岡田芳郎氏に背中を押されて澤田隆治氏の事務所を訪ねる。
- 2017年 文化庁芸術祭参加作品「蝶々さんの日記」脚本・演出・主演のミヤコ蝶々を演じる。
- 2018年 大阪市中央公会堂100周年記念作品「愛が降る街 岩本栄之助物語」プロデュース・演出・主演。
- 2019年 文化庁芸術祭参加作品・澤田隆治監修「唄子と啓助」脚本・演出・主演
- 2022年 聖徳太子1400年忌記念作品『聖徳太子』プロデュース・脚本・演出・主演。
- 2023-2024年 ミュージカルライブ「君はともだち」「君と風になる」プロデュース・企画構成・出演。